



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

清水赤十字病院

広報誌

ペケレベツとは

アイヌ語で「明るく清らかな川」を意味しており、清水町の由来となっています。



院長挨拶 トピックス

清水町神社祭り 御神輿担いできました！

全道日赤職員親善スポーツ大会参加してきました！

健康管理室 活動報告

消火技術研修会

ラフティング＆新得そば祭り

人事消息

編集後記

撮影者：成田 圭亮
撮影場所：清水町



「砂の器」の奥出雲でグローバルを考える

病院長
藤城 貴教

今年（令和5年）の日赤病院長連盟秋季総会は山陰地方を代表する城下町、島根県松江市で開催された。国宝松江城を擁する整然とした街並みと宍道湖の夕日がとても印象的な古都である。会議を終えた週末の一日、40年間の念願かなって奥出雲を訪れた。そこでは古代より“たたら製鉄”が行われており明治以降に衰退するまで日本の製鉄業の中心であった。

そもそも奥出雲に興味を持ったきっかけは高校時代に観た松本清張原作の映画「砂の器」であるのだが、ロケ地巡りと名物の“出雲そば”だけでは午前中あれば充分である。そのため社会科の授業で教わった“たたら製鉄”の遺構見学を思いつき、午後は関係先を巡った。奥出雲地方は山々が折り重なるようにそびえ、平地はごくわずかで谷あいには小さな集落が点在する、どこか懐かしさを覚える地域である。季節はおりしも秋で家の軒先には柿が実り棚田には刈り取られた稲にヒコバエが青々とする豊かな土地であった。数百年続いた製鉄業は領主（松江藩）による許可制であり鉄師と呼ばれた職能集団の棟梁は静謐な山中の広大な敷地に屋敷を構え、準武士としての身分を与えられた有力者であった。

“たたら”は木を倒して炭を作り、山を崩して砂鉄を採り、それを玉鋼（たまはがね）に加工する膨大な労働量と自然破壊を伴う方法である。ゆえにおよそ30年周期で山砂鉄の採掘場を移動し、跡地では家畜を飼い蕎麦を植え、後々水田へと“再生”していったという。山深い棚田の景色もうなずける。足尾銅山のようなはげ山や鉱毒被害はなく見事な循環型の産業を体現した地域であり、昔の人々の知恵には頭が下がった。そしていま世界の注目を集めている。

我々の地域が直面する少子高齢化と過疎化も考え方によっては大きなチャンスである、世界的な規模で展開・通用する考えで地域の特色に向き合い、地域社会のニーズに合った貢献をする“グローバル”は地域医療を担う我々にいま最も必要な発想に違いない。



清水町神社祭り 御神輿担いできました！

薬剤部
高橋 秀徳

十勝清水の秋祭りに参加しました。清水の秋祭りは清水神社、秋の大祭式例祭です。町内の各種団体や飲食店による屋台が軒を連ねるほか、市街地の中心部では壮麗な御神輿が練り歩きました。厄災を払いのけ、秋の収穫に感謝する行事です。そこで、清水神社の神輿会から当院に御神輿の担ぎ手の募集がありました。御神輿を担ぐまとない機会でしたので、当院からは薬剤部、看護部、事務部から一人ずつ計三人招集し、御神輿を担ぎました。皆、初めての経験でしたが、神輿会の皆様方が、法被、帯の締め方、神輿の担ぎ方、足の動かし方をやさしく丁寧にご教授くださいました。「和を背負う」という意味の「和一处(わいっしょ)」と掛け声をかけながら、御神輿を担ぐ皆の一体感を感じることができました。御神輿は重さ数百Kgあり、数週間は肩の痛みが残っていました。しかし、地域住民の笑顔を見ることができたので、とても楽しいお祭りでした。



全道日赤職員親善スポーツ大会参加してきました！

リハビリテーション技術課
米地 亮

3～4年ぶりのまともな運動が日赤大会のフットサル・・・。1週間の体調不良後の病み上がり・・・。話が来た時は体力的な不安やケガの恐怖しかなく正直に断りたい気持ちでいっぱいでした。いざ、当日となり開会式では旧職場でお世話になった方々と久しぶりに再会し会話ができる事は良かったです。試合当日は数年ぶりだからか、各チーム1試合目からバチバチにやりあっており、こんな中でやれるのかと思いましたが、自分の試合になると不思議なもので思っていたよりも体が動き、最低限はできていたかなと思います。混成チームの人数もギリギリで1人につき10分×4をフル出場するため、さすがに最終試合は足がフワフワしており、ダッシュしたくても足が前に出ない状態でしたが、チームメイトや副院長、看護部長、小西さん、辻内さん等の周囲からの応援があって最後まで頑張れました。試合が終わった後は足の痛みや体力を使い果たした事で動けなくなってしまいましたが、差し入れの飲み物等で回復できました、改めてありがとうございました。来年も出る可能性があるため、体力作りしないとダメだなとは思っています。できれば、来年はフットサル専属の運転手つけて下さい！！



ウォーキングイベント開催しました！
イベントは終了しましたが運動は継続しましょう！



日本赤十字社健康保険組合
体育奨励事業

ウォーキングで「運動習慣」と「うれしい賞品」をゲット！

日本赤十字社健康保険組合 ウォーキングイベント 2023

2023年
イベント期間 9/26(火)~10/25(水)

2023年
エントリー期間 9/01(金)~



スマホアプリ
aruku&を使って
楽しく歩こう！

アプリのダウンロードはこちらから！

個人情報に関する事項は事前に必ず確認をお願いいたします。
ご参加にあたっての注意事項や登録マニュアルは、日赤健保ホームページからご確認ください。





※上記は交換できるギフトの一部です。詳細はアプリの画面にてご確認ください。

条件達成で電子マネー等、様々なクーポンに引き換えられるギフト 1000 円分をプレゼント

条件：イベント期間中平均8000歩/日以上（途中参加可能！ ※イベント期間総歩数を30日で割って平均歩数を算出します）

◆各社サービスに関する注記事項

本キャンペーンは日本赤十字健康保険組合による提供です。本キャンペーンについてのお問い合わせはAmazonではお受けしていません。下記イベントに関するお問い合わせ記載の連絡先までお願いいたします。

Amazon、Amazon.co.jp およびそれらのロゴは Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

QUO カード Pay は、スマートフォン以外の携帯電話およびタブレットではご利用できません。

PayPay ポイントは出金、譲渡不可です。PayPay / PayPay カード公式ストアでも利用可能です。

「Edy ギフト ID」は、楽天 Edy 株式会社との発行許諾契約により、株式会社 NTT カードソリューションが発行する電子マネーギフトサービスです。

「楽天 Edy（ラクテンエディ）」は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。

「Edy ギフト ID」を登録することで、楽天 Edy として受け取ることができます。

清水消防庁舎にて行われた消火技術研修会に参加しました。病院職員の他にも、地域の様々な職種の方が参加されていました。研修の一例として、舞台用のスモークを焚き、低姿勢のまま非常灯がどのように見えるのかなど、実際に火災が起きた場合を想定した体験もさせていただきました。研修の最後には、今年の5月に福岡県で起きた事件を取り上げ、アルコールの引火の危険性を学ぶ実験の見学もありました。事件は、バーベキュー中に炭に消毒用のアルコールをかけてしまい、爆発的に燃え広がってしまったという内容でした。実際に消防士の方が防火装備をして行いましたが、成人男性の身長を超えるほどの火が立ち上り、恐怖を感じるとともに、危険性を実感しました。コロナ感染症が流行してから、地域でも様々なところに消毒用のアルコールは設置され、感染予防の観点から清水赤十字病院も設置してあります。また、病院では酸素投与を必要とする患者さんもあり、酸素も可燃性があるため注意が必要です。そこで振り返ると、先輩看護師が、患者さんの持参した電源ケーブルがタコ足配線にならないように工夫している場面を思い出しました。このように先輩は、病院の物だけでなく患者さんの持参された物にも気を配り、発火しないように工夫していたのだと気づきました。

この研修に参加し、実際に消火技術の訓練を出来たことや、火災を未然に防ぐためにも「私も気をつけよう！」と身を引き締め直す大切な体験となりました。

最後に、研修を開いてくださった関係者の皆様、ありがとうございました。



9月24日にL字会で親睦会が行われました。今回は当院の透析患者が営むTOMアウトドアメイツで十勝川を下るラフティングに11名で参加しました。

靴、ウエットスーツ、ライフジャケットを借りボート2台に分かれて川を下ります。何名か経験者がいましたが、私は初めてなのでドキドキしながら乗っていました。ガイドの声に合わせてパドルを漕ぎ下っていきます。波の高いところで水しぶきを浴びたり、波の穏やかな所で景色を見たりしているうちに終わり、車に乗って上に戻ってもう一度下ります。

2回目は波乗りチャレンジ、滝行、飛び込みも行いました。波乗りチャレンジでは、私が一番前だったのでメガネに水しぶきがかかりまったく前が見えなくなりました(後ろの人はあまり水しぶきを浴びなかったそうです)。滝行や飛び込みに皆、果敢に参加していました(体の大きな私は、一番大きなウエットスーツで積極的に川に入らないでと言われたので不参加)。帰りには新得そば祭りに参加し親睦を深めました。来年もあれば参加したいと思うほど楽しかったです。



人事消息

医師派遣 福岡赤十字病院

7月3日(月)～7月14日(金) 本山 健太郎
7月18日(火)～7月31日(月) 井上 重隆
8月1日(火)～8月10日(木) 大石 涼
8月14日(月)～8月31日(木) 斎藤 智晴
9月1日(金)～9月15日(金) 井上 重隆
9月19日(火)～9月29日(金) 長澤 慶成

内科専攻医 愛知医療センター 名古屋第二病院

7月3日(月)～7月31日(月) 伊藤 俊輔
8月1日(火)～8月31日(木) 伊藤 菜々華

臨床研修医 旭川医科大学病院

7月3日(月)～7月28日(金) 竹田 純鈴
8月28日(月)～9月22日(金) 山本 日美花

釧路赤十字病院

7月3日(月)～7月28日(金) 山崎 碩嗣
8月7日(月)～9月1日(金) 千田 和希

愛知医療センター 名古屋第二病院

7月3日(月)～7月28日(金) 和田 拓也
7月31日(月)～8月25日(金) 百留 和馬
9月4日(月)～9月29日(金) 岩瀬 泰英

旭川赤十字病院

8月28日(月)～9月29日(金) 松長 花保

医学生

旭川医科大学 7月 1名
8月 1名
9月 2名

編集後記

コロナ禍での行動制限も撤廃され外国人観光客のインバウンド需要も活況を呈してきました。当院の検診や患者様にも外国人が増加して来ており以前の様な日常診療が戻ってきている今日この頃です。

診療体制も山田副院長の「物忘れ外来」の新設や山田圭吾内科部長の赴任、高橋看護部長・佐藤事務部長の就任、新管理棟の開設など清水赤十字病院での変革が起きていますが、僕自身も子供二人が大学に入学し子育てもひと段落し(学費、仕送りと今までになく経費が・・・)1つの区切りかな、と感じる日々を過ごしているところです。

皆様もこれから北海道の厳冬期を迎えますが体調管理には十分留意して、毎日元気に過ごしましょう！

広報委員長 首藤竹司

❖ 編集・発行責任者：佐藤 秀美 ❖ 編集委員長：首藤 竹司 ❖ 発行元：清水赤十字病院
❖ 印刷：東洋株式会社

〒089-0195 北海道上川郡清水町南2条2丁目1番地 TEL 0156-62-2513 FAX 0156-62-4460
URL <https://www.shimizu.jrc.or.jp/> MAIL contact@shimizu.jrc.or.jp